
青い地球(ほし)

正也

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青い地球^{ほし}

【Nコード】

N7764N

【作者名】

正也

【あらすじ】

100作品目の詩。思いをこめて作りました。評価や感想よろしく願います

空を見上げたら

赤い夕焼けに

飛行機雲が伸びていた

きれいごとが頭に浮かびそうで

閉じ込めた

この茜色の空に嘘はつけない

なんとなくそう思った

景色が気持ちに勝った瞬間

僕は嘘つきな人間だと知った

知ったかぶり

きれいごとなんてそんなものだ

無理に何かを飾ろうとする

それは自分自身も

いつのまにか当たり前になってしまっ

強くいること

憧れでいること

結局それは努力の賜物

強く見せること

憧れでありたいと思うのは嘘です

それは自分でない

むしろ他人

着飾ることに飽きる

着飾ることが苦しくなる

いつの日か

いつか

そう思うだろう

それはもしかしたら今、

悩みの種になっているかもしれない

それが芽を出し、花となったら

どれだけ堕ちていくのだろうか？

自分が自分であることに意味を求めてしまつてしょう

でもそれはどこにもない

目に見えないもの追っかけて

螺旋のように

迷路のように

それこそ自分は自分でいられなくなる

素直な気持ちが一番なんだって

誰かが言った

きれいごとだと思っていた

この美しい世界で

嘘なんてホントは無いんだろう

それがあるのは僕らが

僕らでないから

それでも見上げた空が

綺麗だと思っのは

地球が教えてくれるから

大地の恵み

空の彩色

また明日は来ます

この空にもう一度出会えるかな

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7764n/>

青い地球(ほし)

2010年10月10日12時06分発行